

おやこ通信

第6号



たどたどしくても、一生懸命に話す子どもの姿はとてかわいいですね。でも、「いつまでも発音が上手にできないけれど、これでいいの？」と不安を持つお母さんは多いようです。そこで、子どもの発音について言語聴覚士に聞いてみました。

子どもの発音について



「うちの子どもは『さ行』がうまく言えませんが治りますか？」という質問をよくお受けします。子どもが「言うことのできる音」についての、年齢による「目安」を知っていると良いと思います。



年齢	完成する構音
2歳代	パ行・バ行・マ行・ヤユヨワン・母音
3歳代	タ行・ダ行・ナ行・ガ行・チャ行
4歳代	カ行・ハ行
5歳代	サ行・ザ行・ラ行

音の完成は個人差が大きいといわれています。正確な音をつくるためには、脳からの指令による、体の動き、呼吸、舌や唇の動きが必要です。そのために、体全体を使った遊びや食事動作（噛む・吸う・なめる・飲み込むなど）で、脳と体全体を発達させるようにしましょう。また、正しい音の獲得のためには、周囲が正しい音を聞かせていることが大切です。発音がうまくできなくても、お子さんに言い直しをさせないようにしましょう。



言語訓練を受けるには

心配なとき、言語訓練を受けたいときは、新城市民病院小児科外来（0536）22-2171（代）にお電話ください。また、年2回（日にち未定）医療スタッフによる育児支援活動、「子育て応援広場」をおこなっています。そこでは、子育てに関連したさまざまな質問におこたえています。言語聴覚士も参加していますので、お気軽にご相談ください。（詳しくは事前に広報「ほのか」でもおしらせしていきます。）



じょうずに喋れなくても
たくさん“おしゃべり”しようね



小児科 11月